

ほうさやまかずお

## 市政報告

発行:富山市議会議員 自由民主党 柞山 数男

富山市婦中町新屋501 Tel (FAX)465-1212

E-mail:ho-kazuo@kami-nei.ne.jp

http://www.housayama-kazuo.com/

令和5年  
9月定例会

一般会計補正予算

39億8,910万円 可決

## 災害復旧事業に14億1,100万円！！

令和5年9月定例会は、9月4日から9月26日までの23日間、開催されました。

一般会計補正予算では、5月から7月の大雨に伴う災害復旧事業として、被災した市道、農業用施設等の復旧に要する経費14億1,100万円や、7月12日から13日の大雨により被災した地域で、災害復旧活動を行った町内会に対し、活動支援金を支給する経費971万円などです。

7月の大雨により被災した市道第2工業団地線  
—八尾町保内地内—

また、国・県の追加承認に伴うものとして、障害福祉サービス事業所等へのICT機器の導入支援に要する経費など。その他の事業としては、小中学生のインフルエンザ予防接種費用の助成に要する経費9,164万円や、決算剰余金の一部を財政調整基金へ積み立てる経費1億6,984万円を原案どおり可決しました。

また、特別会計では、介護保険事業特別会計において、前年度未処分剰余金12億8,243万円を、基金に5億6,457万円を積み立てるもの。また、企業団地造成事業特別会計においては、呉羽南部企業団地の土地売払いに伴う繰出金1億6,984万円など。更に、牛岳温泉スキー場事業特別会計においては、キャッシュレス決済導入などに要する経費等244万円を原案どおり可決しました。

## ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに、輝かしい新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はクマによる人身被害が異常な状況となりました。市内では、昨年10月に出没が急増し、目撃や爪痕情報は、令和4年度は51件であったのに対し、令和5年度11月末で339件と6倍以上となっていました。11月17日には市内で女性が襲われ死亡したケースや、11月27日には八尾小学校向かいの精米所で、米ぬかを狙って扉を破壊し侵入したケースもありました。

富山県ツキノワグマ管理計画によると、平成30年度末で、県内には約1460頭が生息すると推計されており、県は、奥山、平野部、市街地の三つの地域区分を行い、各地域に応じた被害防除と生息環境管理、個体数管理に努めています。クマの駆除については、生態系保全や野生生物保護の観点から慎重な意見もありますが、人の命を脅かす存在であり、適切な共存の在り方について議論することが必要と考えます。



熊の爪痕が残る八尾小学校前の精米所

皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

## 9月定例会一般質問

### 線状降水帯発生における河川の状況について

#### 磯川に常設ポンプの設置する必要がある

**問** 大雨などで井田川の水位が上昇すると、増水した水が磯川へ逆流する。そのため、逆流が始まると磯川の樋門を閉鎖し、国交省の排水ポンプ車による排水作業を行っているが、国交省のポンプ車は、北陸エリア管轄であるので必ず必ず来るとは限らないという懸念がある。常設の排水ポンプを設置する必要があると考えるが見解を問う。



磯川に設置されている樋門

**答** 排水ポンプ等々の施設を設けるというのは非常に効果のあることと認識しているが、今すぐにはできない様々なハードルがあるので、今すぐできることは、国・県・市、そして住民、あるいは管理者の連携によるソフト対策も大事であると考えています。浚渫、伐木等々による河川の管理を日頃からしっかりやっていくことによって、河川の水位が上がってきた場合でも、そこに滞留する水量をより多く確保でき、また、河川そのものの流れをよくするということにも寄与するので洪水が起きにくくなるという効果もあります。いずれにしても、今の中では浚渫、伐木等々を含めて、あるいはソフト対策等々を含めて、現状でいかにして対応していくのかということが喫緊の大切な取組になると考えています。

#### 大雨時の発電用水を井田川に放流は、理にかなっていない

**問** 井田川の水量が多い状況の中で、神通川から取水して井田川へ流すという理にかなわないことが起きていていると思っているが、どのような協力要請をおこなっているのか当局の見解を問う。

**答** 合場川上流の発電用水は、神通川第三ダムから牛ヶ首用水路に取水され、婦中町横野地内の発電所などで利用された後、婦中町下井沢地内で合場川に合流しています。また、合流後の発電用水は、農繁期には一部を農業用水として取水しているが、大雨時には全てを井田川に放流しています。合場川上流の発電用水の大雨時における神通川からの取水量調整については、国や県、市で実施している磯川流域の浸水対策を検討する勉強会で、課題として提案するとともに、発電事業者や農業用水の管理者へ機会を捉えて情報提供してまいりたいと考えています。

#### 避難所の見直しをしてはどうか

**問** 速星小学校体育館を避難所として開設されたが、道路は川状態で、体育館玄関前は真っ暗な中であり、膝まで水が来るぐらいの水深であった。また、宮野小学校では、臨月を迎えた方が避難したが、小学校は暑くて中へ入れず、体育館の前の駐車場で一夜を過ごしたということも聞いている。それぞれの地域で避難所の見直しをしてはどうかと思うが、当局の見解を問う。

**答** 災害には、大雨等による浸水のほかにも地震や土砂災害、大規模火災や大規模停電などが想定され、これらの災害が発生した際の避難者の収容を検討する必要があります。また、本市の平野部のほとんどが浸水想定区域であり、浸水想定区域外の施設だけでは収容場所が確保できない上、避難に際しての移動距離が延びてしまうことなどから、浸水想定区域にあることだけを捉えて避難所の指定を解除することは考えていません。

また、指定避難所を開設する場合には、開設の指示を受けた地区センター班要員や施設管理者が施設及び周辺の状況を確認の上、安全に避難が可能であると判断した場合のみ開設することとしており、一概に浸水想定区域の内外で避難所開設を判断するものではありません。なお、避難所が開設された後に冠水などにより避難経路が通行不能になることも想定できることから、あらかじめ浸水しやすい箇所や別の避難経路を確認することのほか、在宅での垂直避難について検討することなど、最寄りの避難所への避難のみにとらわれることなく、様々な事前の備えが重要であると考えており、引き続き自助、共助に基づく防災意識の啓発に努めてまいりたいと考えています。



避難所に指定されている速星小学校体育館

## 企業にも敷地付近までの水道配管整備の支援が必要

**問** 水道配管の未整備地区において、一般住宅では敷地付近まで水道局が水道配管の整備を行っているが、企業には同じような支援がない。富山市で立地をして事業展開しようと思ってもらうために、水道事業の支援が必要と考えるが、当局の見解を問う。

**答** 新たに企業が立地することは、水道事業の新たなユーザーを確保できるだけでなく、地域経済の活性化や税収の増加、雇用の創出等の効果も期待できるため、まちづくりや持続可能な都市経営の観点からも大変有効であると考えています。

一方で、水道事業は地方公営企業として独立採算制により経営していることから、水道配水管の未整備地区において新たに敷設延長が増加することは、初期整備にかかる費用に加え、施設の維持管理や更新にかかる費用が増加することとなり、健全な企業経営への影響が懸念されます。

このようなことから、企業誘致促進に向けた支援については、本市のまちづくりや持続可能な都市経営における効果等を踏まえつつ、まずは水道事業の健全経営の堅持を基本とし、既存の水道利用者との公平性、既存制度との整合性、営利目的である企業側に求める負担などを考慮しながら、水道事業として適正かつ合理的な支援の実施について検討してまいりたいと考えています。

## 資源循環の促進等に関する法律に対する将来展望

**問** 令和4年に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、一括回収が市の努力義務となったが、富山地区広域圏の費用負担の82%を担う市としてどのような将来展望を築いていくのか、当局の見解を問う。

**答** 生ゴミの減量化については、焼却ごみの削減に直結するとともに、処理施設の焼却効率の向上に寄与するなど、施設負担の低減による安定的稼働につながると考えています。

ゴミを減らすためには、資源ゴミを効率よく回収し、そして、今回のプラスチックの一括回収ということも非常に大きなファクターになってくるというふうに思っている。また、生ゴミの水分を十分に飛ばし、排出していただくということもある。また、バイオマスの燃料として、あるいは堆肥化して、それもこの富山市のエリアでそういう資源の循環をする考え方も非常に大事であります。

その大きな元になるのは地域循環共生圏という考え方であり、その地域で出した資源ゴミ等は、その地域で再利用しながら、また、リサイクルし市民の皆さんや我々が積極的に購入したり、使用したりしていくという考えがごみの減量化には今後も大切になってくると思っています。

## トピックス

# 富山県内初、朝日地区で 未来のモビリティ運行を開始！！



朝日地区で利用された車両

昨年10月23日(月)から11月9日(木)までの期間のうち、月～金曜日及び祝日の14日間、1日5便で朝日公民館を出発して、婦中行政サービスセンター、JR速星駅、ファボーレ、富山西総合病院、大阪屋ショップを経由して再び朝日公民館に戻ってくるルートで未来のモビリティ運行実験が行われました。

運行実験は、タクシータイプの車両を使用し、ハンドルやアクセル・ブレーキの操作をシステムが担い運転手が乗車する「レベル2」の技術を活用し運行しました。今年2月上旬には、運行を再開して雪の影響を調査する

ととしており、令和6年度以降も朝日地区で数年間、車種や経路などを再検討して実証実験を継続する予定としています。将来的には、運転手を乗せずシステムが全ての操作を行う「レベル4」を目指すこととしています。

また、神保地区では、買い物などの生活機能や移動手段、交流などの暮らしに必要な機能について、地域と行政が連携しながら、地区センターを身近な拠点として位置づけた社会実験を通し、郊外部での持続可能なまちづくりの在り方を検討することを目的に、9月22日、10月1日、10月21日、11月2日の4日間、「神保ぐるっとおでかけDAY」が開催されました。

令和5年  
12月定例会

# 一般会計補正予算 7億8,178万円 可決

## 子ども医療費助成に3億2,933万円！！

令和5年12月定例会は、11月30日から12月20日までの21日間の開催となりました。

一般会計補正予算では、こども医療費助成として、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えが解消され、子どもの医療費が増えたことに加え、冬場もインフルエンザなどの流行が見込まれるため、0歳から中学3年生の医療費3億2,933万円を助成することとしました。福祉奨学資金では、大学進学を希望する生活保護世帯の高校生らを対象にした福祉奨学資金を、令和6年度入学生から卒業後に県内で就職をすることを前提とした上で、県外の場合も給付対象とすることで、貧困の連鎖を断ち切り、将来的な自立を後押しすることとしました。県の追加承認に伴うものとしては、富山米「富富富」の生産拡大の乾燥調製施設の整備を支援する経費136万円など7億8,178万円を原案どおり可決しました。

債務負担行為では、市総合体育館の改修、運営についてPFI（民間資金活用による社会資本整備）の手法で実施する事業費の上限を80億9,343万円、また、市オーバードホールの吊り天井や設備を改修することの設計業務委託費としての債務負担行為としての上限3億5,000万円を原案どおり可決しました。



## 12月定例会一般質問

### 速星中学校の部活動の地域移行について

#### ふちゅうスポーツクラブと連携して地域移行すべき

##### 部活動の地域移行って？

地域の多様な主体が運営・実施する地域クラブ活動によって、部活動を代替するものです。学校とも連携しながら、多様な活動を、可能な限り低廉な会費で実施します。



##### スポーツ庁のホームページより

市教育委員会としては、速星中学校の意向を踏まえつつ、ふちゅうスポーツクラブとの連携の可能性について検討してまいりたいと考えています。

**問** 速星中学校において、ふちゅうスポーツクラブと連携しながら、部活動の地域移行を実施すべきと考えるが当局の見解を問う。

**答** 市教育委員会では、休日の部活動の地域移行が可能な部活動から、順次、地域移行に取り組んでいくよう各学校に促してきており、速星中学校に関しても、自校の施設に加え、婦中スポーツプラザや婦中体育館が隣接している環境にあります。今年度の実証事業に取り組んでいる拠点校の中間報告からは、休日の学校施設の利用における開錠、施錠及び施設管理や指導者への謝金等の財源確保が依然として課題となっており、施設管理責任の明確化や受益者負担に対する保護者の理解が必要不可欠になってくるものと考えられます。

#### 部活動の活動場所の指定管理業者を総合型スポーツクラブに

**問** 地域移行する部活動の活動場所として使用する市保有施設を、総合型スポーツクラブ等を管理者とする指定管理に移行できないか当局の見解を問う。

**答** 市においては「富山市公共施設等総合計画」において、PPP（公民連携手法）を活用することを推進していることから、婦中体育館を含む、直営で管理運営しているスポーツ施設についても、現状の管理運営業務を指定管理に移行した場合の管理運営費用や、サービスの向上、業務効率などを勘案しながら指定管理の移行について、検討してまいりたいと考えています。

なお、指定管理制度を導入する際には、指定管理業務の主業務となる施設管理業務を着実に遂行できる事業者を、公平性をもって選定する必要があることから、公募により選定することとなります。